

### スローガン

1. 下水道による残業務の安定的継続のため、合理化事業計画の推進、転換業務の獲得
2. 下水道に接続されない浄化槽（合併）の社会的地位の確立
3. 新浄化槽維持管理システムの推進
4. 浄化槽（合併）を併用した農業集落排水処理業務事業計画の実現
5. 市町村の責務である一般廃棄物処理計画の策定推進
6. 一般廃棄物収集運搬業務の遂行

## 広報

# 福島環境整理連

発行

福島環境整備協同組合連合会

住所/いわき市内郷高坂町大町138番地2

TEL 0246-27-8818 FAX 0246-27-8813

発行者 岡 光義

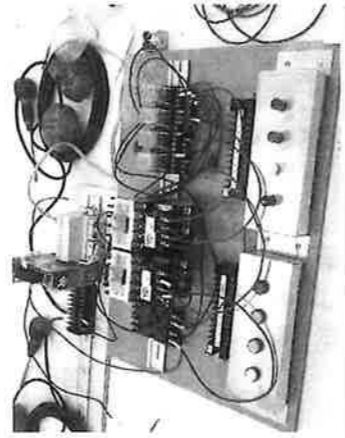
編集責任者 瀬戸崇志

# 浄化槽保守点検・清掃技術のスキルアップのための研修事業

本会は、4年ぶりに浄化槽に関する講習会、3年ぶりに電気設備に関する講習会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染拡大の懸念から、多人数が集まる研修事業を行う事を控えて参りましたが、研修会・講習会等も感染対策を講じて開催し、所属員の皆様の日常業務にお役立ていただきたくいたしました。

- ① 制御盤の見方
- ② 電気の安全
- ③ 保護機器（漏電確認方法）の使い方
- ④ 測定器（テスタ・検電器）
- ⑤ 制御機器（リレー、サーモリレー、保護機器）の仕

高度ポリテクセンターの石田光芳氏を講師として、測定器を実際に使用し制御部品の分解や回路を制作するなどの実習を行なった。

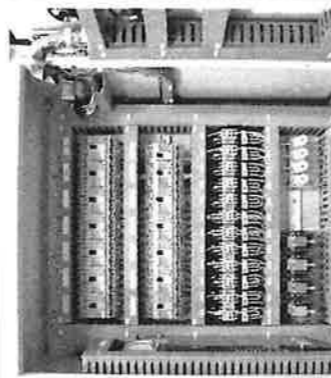


現在では、国からの行動制限が解除されており、講習という移動がほぼ無く、大声を出すことも無いという事から、感染予防対策を講じて開催する運びとなった。

この講習会は、定期的で開催しており、理事の方から職員全員の受講を希望することから、再度福島地区での開催を依頼されていたが、コロナ禍のため延期されていた。

令和4年10月21・22日の二日間、再び「ポリテクセンター福島」において電気設備講習会を開催した。

「先生の説明が良かった」「実習が良かった分り易かった」「基礎を改めて確認できたのが良かった」「会社で学べない専門的な事なので受講できて良かった」「電気回路図面を読めてリスク軽減に繋がる」「仕組みを理解できたので配電盤操作の際のトラブル対応に役立つ」



受講した20名の所属員の方々からのアンケート回答には、多くの意見や感想があった。

- 組みと目的
- ⑥ リレーの故障診断
  - ⑦ 制御と回路図
  - ⑧ 総合演習
- (1) 模擬回路診断実習  
(2) モータ・ポンプのメンテナンス方法

## ポリテクセンターを活用した電気設備講習会

## モロコンパクト型浄化槽に関する講習会Ⅰ

令和4年11月22日、郡山市の「ビッグパレットふくしま」において、(公財)日本環境整備教育センター主催、本会を実施機関として「モロコンパクト型浄化槽に関する講習会Ⅰ」を開催した。

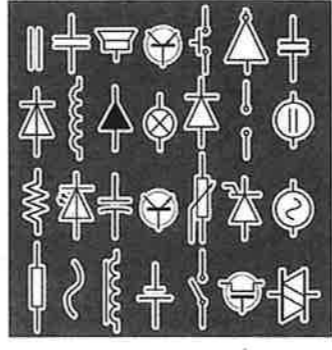
本会では数年の間、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、講習・研修事業の執行が出来ない状況にあったが、

感染対策を徹底し、収容員100人以上の会場を使用、座席の間隔を十分に配置、手指消毒剤、検温器を準備するなどして開催。所属員49名の方々に受講して頂いた。

講習は、配付テキスト、資料映像、講習会資料等を使い、現在設置基数の多いK1G型、C1型の小型合併浄化槽の仕様、保守点検及び清掃

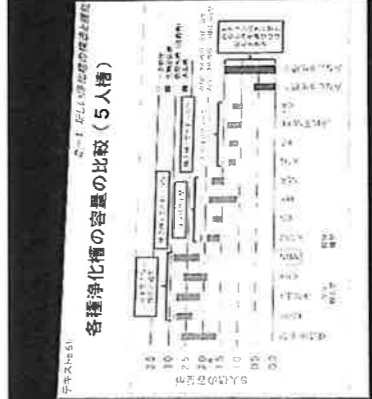
について4時間に亘り(公財)日本環境整備教育センター事業企画グループサテライトの加藤裕之先生により行われた。

受講者の方々の日常業務、自己研鑽のためにお役立て頂ければ幸いです。



「新たな知識の習得のためまた別の講習会を企画してほしい」

多くの方に役に立ったという感想を頂いて、今後の講習会事業の企画も積極的に進められると考えております。開催希望の講習会がございましたら、事務局までご連絡下さい。





総務委員会

総務委員会は3月16日、いわき市環境会館において第2回の委員会を開催した。9月の青年部研修会開催前に、広報紙の校正を行っているため実際には第3回目の開催。  
広報活動については、本会のホームページにトピックスを掲

載するなど活動内容を随時掲載しているが、より詳しく会員各位に報告するため、総務委員会を開催して広報紙の内容及び記事の割付及び校正を行っている。  
コロナ禍で、思うように事業活動が出来ない近年ではあるが、今年度は種類の講習会を開催できた。  
通常総会・理事会も、書面やWEB会議等ではなく、以前のように対面で開催出来る事は、意思の疎通が図れるため重要である。少しずつではあるが、感染予防策を取って講習会等の開催が出来ようになれば、広報紙の内容及び充実したものになると思える。

南相馬市衛生組合 所属  
磯相双衛生  
中野真也氏  
後藤信也氏  
アズニテ、郡山協同組合 所属  
(有)福島言興社  
渡辺幸孝氏  
臨時総会後、意見交換会が開

催され、各地区の情報収集や、瀬戸青年部長から全国環整連青年部長会議や研修会の報告を受けて、様々な意見交換が行われた。また、新入部員の3名から入部挨拶がなされ、今後も青年部の活動が期待されます。



青年部臨時総会

青年部は、令和5年3月17日、郡山市において臨時総会を開催した。出席者は13名、委任状出席9名。オブザーバー出席1名。  
議案第1号 新入部員承認の件  
このことについて審議され、満場一致で異議なく承認された。

### 岡城特任講師派遣事業

いわき市環整備事業協同組合は、令和5年3月17日「いわき市環整会館」大会議室において、本会の特任講師派遣事業を活用して浄化槽管理技術研究会を開催した。

岡城孝雄技術士により「災害時のトイレ対策の役割を担う浄化槽と体制強化に向けて」と題し、資料に沿って説明がなされ、組合員29名が出席。

災害の原因：降雨、暴風、洪水、地震、高潮、波浪、津波、突風、旋風、落雷、積雪、融雪、その他(地すべり、噴火、干ばつ等)

東日本大震災浄化槽被害状況調査報告(岩手県、宮城県、福島県)

1. 災害の種類とトイレ使用に影響する災害
2. 東日本大震災発生による浄化槽への影響(地震津波)
3. 台風・大雨による被害
4. 災害による下水管路、施設への影響と復旧までの時間
5. 災害による浄化槽への影響復旧までの時間
6. 応急仮設住宅への浄化槽適用と活用
7. 災害時にトイレに影響するところ
8. 地震後にトイレに行きたくなくなるまでの時間
9. 携帯トイレ、仮設トイレ
10. 避難所のトイレの現状と健康被害
11. マンホールトイレ等の活用、避難所への浄化槽の活

12. 用
  12. 災害対応を速やかに行なうための連携と協定の締結
  13. まとめ 災害の影響を小さく速やかに復旧するために
  14. その他(いわき市防災講座、災害後復旧カシリエンス)
- ＊カシリエンス＝困難をすばやく乗り越え回復する力

福島県では、東日本大震災後も、令和元年東日本台風や、令和3年2月、令和4年3月に大きな被害をもたらした地震が発生し、相馬地区や郡山地区などでは建物の損壊や、被害が大きいため営業が出来なくなる商業施設があった。本会の講習会も、会場が地震の影響で利用出来なくなり延期された。

このことから改めて災害時のトイレ対策等について岡城先生からお話しをして頂き、誰もが同じように使う「トイレ」の重要性と衛生管理、災害が起きた際の我々の業務について熟考した。



### 山形県組合・環整連研修会

令和5年2月21日、山形県環整備事業協同組合は山形市のメトロポリタム山形において、「10・8通知」について研修会を開催した。



全国環整連合理化推進委員長の田中禎一氏からの依頼により、講師として本会から松宮秀泰理事が出席した。

山形県組合員32名、行政関係22名、来賓・講師他9名の63名が出席し、研修と質疑応答が行われた。

全国環整連では、第46回全国大会において環境省から講師を招いて「一般廃棄物の適正処理の推進について」と題して講演を行っている。また、「10・8通知」についてパネルディスカッション形式で討論を行った。

3月3日には、京都府でも10・8通知の研修会が開催された。本会では、平成29年の1月に

郡山市において「一般廃棄物ワークショップ」を開催し、環境省東北環境事務所から講師を招いて10・8通知について研修会を行い知識と理解を深めている。

全国環整連や全連連では、理事会後に新生懇親会を開催、また、研修会・勉強会を開催するなど、コロナ禍前と同じようにとまどはないが、活動を再開している。

本会でも、感染防止対策を取ったうえで、今後は従前のように事業活動を執行したいと考えます。

令和5年度 通常総会

開催日 令和5年5月26日(金)

場所 郡山ビューホテルアネックス

時間 午後3時30分開会予定

ご多用中と存じますが何卒  
ご出席いただけますよう  
お願いいたします